

<表 2> 各団体における医療安全管理者研修等の研修内容

注 1 診療報酬「医療安全対策加算」の研修要件を満たす研修

「医療安全管理者の業務指針および養成のための研修プログラム作成指針」に則り次の6項目の内容を含む。40時間以上。

1 医療安全の基本的知識 2 安全管理体制の構築 3 医療安全についての職員に対する研修の企画・運営 4 医療安全に資する情報収集と分析、対策立案、フィードバック、評価
5 事故発生時の対応 6 安全文化の醸成

* 各団体の医療安全管理者研修の内容を、著者が講義名等から推測して6項目のいずれかに分類した。内容が2項目以上に渡る場合は主な内容で分類したため厳密なものではない。

注 2 診療報酬「医療安全対策加算」の研修要件には該当しない研修

注 3 平成 30 年度の研修内容。 一部平成 29 年度の状況は年度を記載。

| | | | | | | |
|---------------------------------|--|--|--|--|---|--|
| A 日 本 看 護 協 会 | 【医療安全管理者養成研修】 | | | | | |
| | 1 医療安全の基本的知識 | 2 安全管理体制の構築 | 3 医療安全についての職員に対する研修の企画・運営 | 4 医療安全に資する情報収集と分析、対策立案、フィードバック、評価 | 5 事故発生時の対応 | 6 安全文化の醸成 |
| | <p>医療・看護の質の向上と医療安全</p> <p>○医療安全に関する法令・制度・指針</p> <p>○我が国の医療安全施策の動向</p> <p>○医療・看護の質の向上と医療安全</p> <p>○看護管理者に求められる医療安全管理に関する資質</p> <p>○医療安全に関連した日本看護協会の事業</p> <p>心理学・人間工学等の関連</p> <p>○医療事故発生のメカニズムとヒューマンエラー</p> <p>○心理学・人間工学からみた医療安全</p> <p>協働的問題解決</p> <p>○コンフリクト・マネジメントの基礎知識</p> <p>○医療対話推進者の役割および手法</p> <p>○改善に向けたコンフリクトの活用</p> | <p>組織管理の基礎知識</p> <p>○安全管理のための組織管理の基本</p> <p>○医療機関の組織構造や機能</p> <p>○組織文化</p> <p>○安全管理における組織分析と意思決定</p> <p>○変革に向けた組織へのアプローチ</p> <p>体制の構築と整備</p> <p>○職種横断的な組織および安全管理体制の構築の方法</p> <p>○安全管理体制の整備に向けた医療安全管理活動の評価および課題への対応</p> <p>○各部門および部署との連携・協働</p> <p>○各部署における医療安全管理活動の実践力の向上</p> <p>チーム医療のパフォーマンスが向上するコミュニケーション</p> <p>○医療安全におけるコミュニケーションの基本と考え方</p> <p>○医療安全における多職種連携・協働のためのコミュニケーション・スキル</p> <p>○医療安全の向上に向けた正確な情報伝達の方法</p> | <p>研修立案の概要</p> <p>○組織のリスク感性向上および安全文化の醸成に向けた研修の役割と方策</p> <p>○医療安全管理の目的と目標達成のための研修の企画・運営・評価の概要</p> <p>○研修内容を各部署や部門で共有・継続するための方策</p> <p>研修立案の実際</p> <p>○グループワークによる立案手順に沿った研修の立案</p> | <p>施設外における情報収集と還元</p> <p>○医療安全に関する日本医療機能評価機構の活動</p> <p>○医療事故報告の現状と傾向</p> <p>○施設外における医療安全に資する情報の収集と自施設への取り入れの実際</p> <p>施設内における情報収集と還元</p> <p>○施設内における医療安全に関する情報の収集および事故報告の仕組み</p> <p>○収集した情報や報告内容の活用</p> <p>○各部門および部署への還元</p> <p>事象の分析と対策立案の概要</p> <p>○基本的な分析手法と手順</p> <p>○背景要因の探り方</p> <p>○リスク評価の方法</p> <p>○事故の再発防止対策の立案と評価</p> <p>事象の分析と対策立案の実際</p> <p>○グループワークによる分析手順に沿った事例の分析</p> | <p>事故発生時の行動の基本</p> <p>○医療事故発生時の基本原則</p> <p>○医療事故に関する法的責任</p> <p>○医療機関における医療事故発生時の基本原則に基づく具体的な対応</p> <p>○再発防止および風化の防止に向けた取り組み</p> <p>事故に関与した職員および患者・家族への対応</p> <p>○医療事故の当事者に対する精神的ケア</p> <p>○医療事故に関与した職員を擁護しサポートできる組織的対応と人的環境づくり</p> <p>医療事故調査制度</p> <p>○医療事故調査制度の概要</p> <p>○医療事故調査制度の対応の実際</p> | <p>医療安全管理者の役割</p> <p>○患者・家族と共に取り組む医療安全</p> <p>○安全文化の醸成に向けた多職種連携・協働</p> <p>○安全対策と再発防止策を各部門や部署で共有・継続するための方策</p> <p>○事故の報告を非難しない組織文化の醸成</p> <p>○新人看護職員が直面しやすい医療安全管理上の問題および看護基礎教育をふまえた継続教育の基本的考え方と実施のポイント</p> |

| | | | | | | |
|---|---------------------------------------|-----------------------|---------------------------|-----------------------------------|------------|---|
| B 日 本 医 師 会 | 【医療安全推進者養成講座】 | | | | | |
| | 1 医療安全の基本的知識 | 2 安全管理体制の構築 | 3 医療安全についての職員に対する研修の企画・運営 | 4 医療安全に資する情報収集と分析、対策立案、フィードバック、評価 | 5 事故発生時の対応 | 6 安全文化の醸成 |
| | 医療安全対策概論～医療への品質マネジメントアプローチ～ 医事法学概論 | 医療施設整備管理論 医薬品安全管理論 | 医療現場におけるコーチング術 | 医療事故事例の活用と無過失補償制度 | 医療事故の分析手法論 | 事故防止職場環境論 ○職場環境や仕事の進め方を整備することにより仕事のミスを減らす活動 Fitness to Practice 論 ○患者と円滑なコミュニケーションを図るための対話・説明の態度 |
| 【医療事故調査制度「医療機関向けセミナー」】0.5日 1. 医療事故調査制度の概況 2. 報告事例の判断について 3. 当該医療機関における対応 4. 支援団体・外部委員の役割 5. 報告書の作成 6. 総合質疑応答 | | | | | | |

| | | | | | | |
|---|---|--|--|--|--|--|
| C 日 本 病 院 会 | 【医療安全管理者養成講習会】 | | | | | |
| | 1 医療安全の基本的知識 | 2 安全管理体制の構築 | 3 医療安全についての職員に対する研修の企画・運営 | 4 医療安全に資する情報収集と分析、対策立案、フィードバック、評価 | 5 事故発生時の対応 | 6 安全文化の醸成 |
| | <p>医療安全の意義と院内の体制作り</p> <p>○我が国の医療安全施策の動向</p> <p>○医療安全管理の基礎知識と考え方</p> <p>○医薬品医療機器総合機構から</p> <p>○日本医療機能評価機構から</p> <p>再発防止</p> <p>○ヒューマンエラー</p> <p>○患者とのパートナーシップ</p> <p>医療安全に求められる法的基礎知識</p> | <p>再発防止</p> <p>○多職種からなるラピッド・レスポンスシステムの取り組み</p> <p>○クリティカルパスの仕組みと医療安全への活用</p> <p>中小医療機関の安全対策</p> <p>医療安全の具体的な取り組み</p> | <p>院内研修の企画・運営について</p> <p>○院内研修と安全文化の醸成</p> <p>院内研修の企画・運営について</p> <p>○チーム医療とは何ですか。何ができるとよいですか。-エビデンスに基づいたチーム医療(チームSTEPPS)(後編)</p> | <p>事例分析</p> <p>○事例分析の実習(ImSAFER)</p> <p>医療安全と医療情報管理～クリニカルインディケータ～等を用いて医療安全に取り組む～</p> | <p>事故発生時の対応1</p> <p>患者の救命と患者家族への説明</p> <p>○院内報告システムの活性化と事故後対応</p> <p>○事実説明・患者の立場から</p> <p>○Just cultureと真実説明</p> <p>事故発生時の対応</p> <p>(ア)関連した法的対応</p> <p>○ガバナンスと情報共有</p> <p>再発防止</p> <p>○事故後対応ロールプレイ</p> | <p>再発防止</p> <p>○チーム医療とは何ですか。何ができるとよいですか。-エビデンスに基づいたチーム医療(チームSTEPPS)(前編)</p> <p>○医療の質・安全向上のためのカイゼン活動</p> <p>再発防止</p> <p>○医薬品事故防止対策</p> <p>○防止の考え方と方法に関するトピックス</p> |
| <p>【医療安全管理者養成講習会アドバンストコース】1日 5時間40分</p> <p>院内医療事故調査の進め方 事故発生から報告書作成まで</p> <ol style="list-style-type: none"> 標準化された医療事故調査とは 事故調査報告書の作成「事実経緯の把握」 事故調査報告書の作成「事前的視点による評価・検証」 事故調査報告書の作成「事後的視点による再発防止策の立案」 医療事故の判断 | | | | | | |

| | | | | | | |
|--|-------------------------------------|-------------|---------------------------|-----------------------------------|------------|-----------|
| D 全 日 本 病 院 協 会 | 【医療安全管理者養成課程講習会】*日本医療法人協会と共催 | | | | | |
| | 1 医療安全の基本的知識 | 2 安全管理体制の構築 | 3 医療安全についての職員に対する研修の企画・運営 | 4 医療安全に資する情報収集と分析、対策立案、フィードバック、評価 | 5 事故発生時の対応 | 6 安全文化の醸成 |
| <p>【医療安全管理体制相互評価者養成講習会】(1.5日間)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療安全管理の基本的考え方 2. 医療安全管理体制構築 <ul style="list-style-type: none"> ～管理者の立場から ～安全管理担当者の立場から 3. 病院機能評価における安全管理の視点と診療記録監査の要点 4. 医療安全管理体制相互評価の実際 5. グループ討議～自院の医療安全管理体制の現状把握 6. データマネジメント(データ収集/分析、死亡事例の把握とデータベース化) 7. グループ討議・発表～安全管理点検項目・点検チーム構成の検討 8. グループ討議・発表～安全管理点検表の検討(相互評価用・自己評価用) 9. グループ内で相互評価 | | | | | | |

| | | | | | | |
|---|---|--|--|--|---|--|
| E 日 本 医 療 法 人 協 会 | 【医療安全管理者養成課程講習会】*全日本病院協会と共催 | | | | | |
| | 1 医療安全の基本的知識 | 2 安全管理体制の構築 | 3 医療安全についての職員に対する研修の企画・運営 | 4 医療安全に資する情報収集と分析、対策立案、フィードバック、評価 | 5 事故発生時の対応 | 6 安全文化の醸成 |
| | 【医療安全管理者養成講習会】 | | | | | |
| | <p>医療安全の意義と院内の体制作り</p> <p>○わが国の医療安全施策の動向</p> <p>重要課題～医療安全管理の基礎知識と考え方</p> <p>重要課題～医療事故調査制度、医師法 21 条</p> <p>再発防止～ヒューマンエラーとシステムエラー</p> | <p>再発防止～多職種間の連携</p> <p>グループワーク</p> <p>○院内における医療安全管理体制作り～自院の現状と課題</p> <p>重要課題～中小医療機関の安全対策</p> | <p>院内研修～医療安全研修の実際</p> <p>○医師及び全職員への医療安全研修</p> <p>院内研修～院内研修と安全文化の醸成、</p> <p>○医療現場でのノンテクニカルスキル教育</p> | <p>情報収集と共有～医薬品医療機器総合機構から</p> <p>情報収集と共有～日本医療機能評価機構から</p> <p>○医療安全管理の基礎知識と考え方</p> <p>情報収集と共有～院内における事故情報の共有・医療安全管理者のネットワーク</p> <p>事例分析の実習 (FRAM)</p> <p>Functional Resonance Analysis Method</p> <p>(機能共鳴分析手法)</p> | <p>事故発生時の対応 (患者・家族対応)</p> <p>○患者の救命と患者家族への説明、グリーフケア、メディエーション</p> <p>事故発生時の対応 (医療従事者への対応)</p> <p>○院内報告システムの活性化と事故後対応</p> <p>○現場医療従事者に対するメンタルケア、メディエーション</p> <p>事故発生時の対応 (法的視点)</p> <p>○関連した法的対応</p> <p>事故発生時の対応 (院内システム)</p> <p>○院内システムの活性化と事故後対応</p> <p>重要課題</p> <p>○米国における事故当事者に対する対応</p> <p>○療養上の世話に関する訴訟</p> <p>○記者会見、報道対応</p> <p>グループワーク</p> <p>○事故後対応・ロールプレイ</p> | <p>再発防止～医薬品事故防止対策</p> <p>再発防止～施設計画と医療安全 (安全な療養環境)</p> <p>再発防止～防止の考え方と方法に関するトピックス</p> |

| | | | | | | |
|---|--|-----------------------|----------------------------------|--|---|--|
| F 日 本 精 神 科 病 院 協 会 | 【医療安全管理者養成研修会：新規研修会】 | | | | | |
| | 1 医療安全の基本的知識 | 2 安全管理体制の構築 | 3 医療安全についての職員に対する研修の企画・運営 | 4 医療安全に資する情報収集と分析、対策立案、フィードバック、評価 | 5 事故発生時の対応 | 6 安全文化の醸成 |
| | <p>医療安全対策の動向 精神科病院における医療事故の現状 医療安全に関係する薬物療法の問題点 医療事故調査制度について 事故発生のメカニズムとヒューマンエラー 医療安全と法令関係 医療安全に関わる説明と同意 「隔離」「拘束」に関する問題点 医療事故と損害保険</p> | <p>医療安全とコミュニケーション</p> | <p>KYT（危険予知トレーニング）の実践（講義・演習）</p> | <p>事故分析の手法 改善策の検討と評価事故分析の手法 事例分析及び改善策の検討と評価事故分析の演習</p> | <p>事故発生直後、事故後の対応 事故を起こした当事者へのケア 危機管理とマスコミ対策 医療過誤裁判の流れ</p> | <p>院内感染症対策 薬剤管理と医療安全 病棟の療養環境と医療安全 情報管理と医療安全 精神科病院におけるマネジメント各論～事故予防対策（自殺、患者間傷害と無断離院、誤嚥・窒息、突然死・合併症、転倒） グループ討論～自分の施設で印象に残った医療事故・ヒヤリハット、効果のあった事故再発予防策 質の管理向上と組織的取り組み 大規模災害とリスクマネジメント</p> |
| <p>【医療安全管理者養成研修会：更新研修会】 1日 7.5時間 *新規者研修の第1日目の第1講～第5講を一括受講</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療安全対策の動向 2. 精神科病院における医療事故の現状 3. 医療安全に関係する薬物療法の問題点 4. 院内感染症対策 5. 医療事故調査制度について <p>【日本精神科医学会学術大会シンポジウム：医療事故調査制度について】 1日 2時間</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療事故調査制度について（総論） 2. 日本精神科精神科病院協会の会員病院に対する医療事故調査等の支援 3. 国民が信頼できる医療事故調査制度を確立するためにすべきこと（患者の視点から） 4. 医療事故調査制度と法律要件 | | | | | | |

| | | | | | | |
|--|--|--|----------------------------|---|------------------------|---|
| G 医 療 の 質 ・ 安 全 学 会 | 【医療安全管理者養成研修】 | | | | | |
| | 1 医療安全の基本的知識 | 2 安全管理体制の構築 | 3 医療安全についての職員に対する研修の企画・運営 | 4 医療安全に資する情報収集と分析、対策立案、フィードバック、評価 | 5 事故発生時の対応 | 6 安全文化の醸成 |
| | <p>医療安全の施策の動向</p> <p>医療安全管理の基本的な知識</p> <p>医療事故をめぐる法律関係</p> <p>健康被害救済制度</p> <p>医療 ADR</p> <p>都道府県医療安全支援センターの取り組み</p> <p>ヒューマンエラーの認知科学</p> <p>医療安全の国際的動向</p> | <p>医療安全管理者としての実践</p> <p>医療安全管理者のリーダーシップ</p> <p>医薬品に起因する事故防止と医療安全担当薬剤師の新たな役割</p> <p>医療機器安全管理のために医療安全管理者が知っておくべきこと</p> <p>中小医療機関の安全管理(1人で行う安全管理)・小規模病院の医療安全(少人数体制の医療安全管理)</p> <p>医療安全と渉外活動</p> <p>医療安全に求められるノンテクニカルスキル</p> <p>リスクコミュニケーション</p> <p>～リスク情報を伝えるには</p> | <p>医療安全のための研修の企画・運営・評価</p> | <p>組織的な安全対策～インシデント収集から日常的な安全対策と事故発生時に行うべきこと</p> <p>発生した事故の分析方法</p> <p>医療事故情報収集事業と医療事故調査制度</p> | <p>医療事故調査が生かされるために</p> | <p>事故被害者の立場で考える医療安全</p> <p>医療安全を確保するための業務プロセスの構築・運用・改善～品質管理の視点から・歯科クリニックにおける改善事例</p> <p>放射線分野における患者および職員の安全確保</p> <p>診療情報の適切な管理と活用</p> <p>医療安全管理者のネットワーク構築と継続学習</p> |

| | |
|---|---|
| H 日 本 歯 科 医 師 会 | <p>【医療安全研修会】(3時間)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 歯科の医療安全 2. 相談援助の魅力と可能性 3. 都道府県歯科医師会の取り組み 4. 意見交換 <p>【医療事故調査制度研修会】(5時間)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療事故調査制度 2. 医療事故の判断および調査分析 3. 医療事故調査制度～病院管理者・支援団体の立場で 4. 歯科における対応事例 5. ビデオ研修(聞き取り) 6. グループワーク(初期対応、論点整理、報告書の作成までの流れ) |
| I 日 本 薬 劑 師 会 | <p>*平成30年度は全体研修を実施せず</p> |
| J 日 本 病 院 薬 劑 師 会 | <p>【医薬品安全管理責任者等講習会】(1日)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医薬品安全使用のための手順書作成マニュアル改定版について 2. 医療情報活用のための最近の話題 2018 3. 医療機能評価機構の視点から医薬品安全管理責任者に望むこと 4. 医薬品管理責任者に伝えたい医療機器をめぐる最近の話題 2018 5. 製薬企業における医薬品安全対策の取り組み 2018 6. 医療安全の観点で在宅医療又は地域連携に取り組んでいる施設 7. 医療安全管理者から医薬品安全管理責任者に望むこと 8. 質疑応答 |